市民学会教育部会の江連恭弘さんから、雑誌『歴史地理教育』特集「ハンセン病から考えよう」についての紹介文（以下）が届きました。

＊＊＊

私が編集委員をしている『歴史地理教育』2016 年 9 月号で「ハンセン病から考えよう」という特集を組みました。この雑誌は、社会科教員を中心とした団体の一つである歴史教育者協議会が毎月、編集発行しているものです。ぜひ、ハンセン病市民学会のみなさまにも手にとっていただきたいと思っています。特集内容および関連原稿は以下の通りです。

［特集　ハンセン病から考えよう］
・【インタビュー】ハンセン病を生きる
　　―社会復帰者・石山春平さんのお話　（石山春平）
・共感ジャーナリズム　―ハンセン病報道から考える　（高木智子）
・ハンセン病と司法・法教育の課題　（国宗直子）
・「人権の森 全生園」から学ぶ総合学習
　　―多磨全生園との関わりを通しての人権教育　（青木祐子）
・ハンセン病問題から学ぶ　―加害責任の自覚の上に　（延和聰）

［特集以外の連載から］
・【子どもの目】小学生とハンセン病問題　（米須清貴）
・【歴史研究最前線 81】近代日本のハンセン病と「絶対隔離」（石居人也）
・【探訪ミュージアム 86】重監房資料館（群馬県草津町）（宮崎令子）

定価　648 円＋税
購入・問い合わせは下記までお願い致します。
〒170-0005 東京都豊島区南大塚 2-13-8 千成ビル　　歴史教育者協議会
電話　03-3947-5701
FAX　03-3947-5790
http://www.rekkyo.org/archives/2250

以上、よろしくお願い致します。（江連恭弘）